

# 一般会計

## 44億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月6日に招集され、平成27年度一般会計ほか特別会計当初予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成26年度各会計補正予算など35議案を、いずれも原案どおり可決し、12日に一般質問等を行って閉会しました。

平成27年度一般会計予算は44億3千605万8千円で、対前年度比7.5パーセントの増、特別会計を合わせた7会計総額では、62億1千653万円で、対前年度比7.1パーセントの増となりました。

歳入では普通交付税は8千198万5千円減の20億8千968万5千円、国庫補助金に社会資本整備総合交付金事業（道路）として3千90万円増の1億3千720万円、臨時財政対策債は前年と同額の1億2千万円が見込まれています。また、財源不足に充てるため、財政調整基金から1億円を取り崩し、計上しています。

歳出では、福祉活動拠点施設建設事業に1億5千956万3千円、福祉バス更新に3千600万円、農道・明渠維持補修事業に1千250万円、道管負担事業（畑地帯総合整備事業）に8千896万円、畜産担い手育成総合整備事業に2千526万円、高齢者住宅新築工事（1棟4

戸）に5千800万円、道路新設改良費に幌岡第3幹線改良舗装工事など、4億1千133万1千円、高規格救急自動車の更新に、3千712万6千円（東十勝消防事務組合負担金）などが計上されています。

また、平成26年度一般会計ほか7特別会計について次ページ表のとおり補正されました。

主な補正の内容は、人件費及び事業残額の精査、定住促進賃貸住宅建設補助事業1千40万円、地方創生先行型事業として、次世代育成支援金（繰越明許費）に1千740万円、プレミアム付特別商品券発行事業補助金（繰越明許費）に2千544万円の追加補正となっています。

平成27年度各会計当初予算の比較 (単位：万円)

会計名	27年度	26年度	比較	伸び率	
一般会計	44億3,606	41億2,616	3億 990	7.5%	
特別会計	国民健康保険特別会計	6億8,187	6億 191	7,996	13.3%
	介護保険特別会計	4億 558	3億8,028	2,530	6.7%
	後期高齢者医療特別会計	5,700	6,284	▲584	▲9.3%
	医療施設特別会計	1億3,504	1億4,971	▲1,467	▲9.8%
	簡易水道特別会計	2億9,721	2億7,836	1,885	6.8%
	公共下水道特別会計	2億 377	2億 743	▲366	▲1.8%
	特別会計小計	17億8,047	16億8,053	9,994	5.9%
計	62億1,653	58億 669	4億 984	7.1%	

### 主な審議内容

- Q** 我が町のふるさと納税（寄附金）への取り組みは？  
**A** ふるさと納税を実施するに当たり、お礼の「ふるさと納税品」を平成26年度予算の中で検討し、ふるさと会会員等にPRしていく。
- Q** 徴税費のインターネット公売手数料とは？  
**A** 町税滞納者の差押物件をやるための手数料。現在、差押物件はない。
- Q** 福祉活動拠点施設と高齢者住宅との関係で、どのような事業を展開していくのか？  
**A** 当該施設は、社会福祉協議会、各種福祉団体等の会議、高齢者を中心に展開しているホットサロン、いきがいデイ等の事業を予定。オーブンスペースは、高齢者住宅入居の方に歓談の場として利用していく。
- Q** 社会福祉協議会のボランティアの方が高齢化し、人員不足と聞かすが、バックアップ体制は？  
**A** ボランティア不足・高齢化は以前から言われている。対策と

して、社会福祉協議会に、町民に少しでもボランティアに参加してもらえよう、きっかけづくりとなる事業にも取り組んでもらっている。また、新しくボランティアに参加したいという声も聞いている。それらの力を結集して施設の運営を図る。

新年度から農協が職員を配置しないことになり、平成27年度中に今後の運営について決定する。研修目的の施設だが目的外の宿泊希望も多々、利用しやすくなるよう検討したい。

共同スペースの設置になること管理する人が必要。現段階では、独立した住宅を建設する予定。

**Q** 町民には広報等で、道外関係市町村には参加希望を取り、会場はふるさと納税はふるさとホールを予定しており、300人程度の予定。  
**A** サミットの道外参加者の宿泊施設の対応は？  
**A** 帯広市内ホテル、十勝川温泉を紹介する予定。

**Q** 福祉バスの購入事業説明で、いずれ福祉バスと担い手バスを合わせて1台にする説明があったが、利用に支障が無いか？  
**A** 2台とも老朽化が著しく、利用件数を考慮して経費節減のために平成28年度から1台にした。支障がある場合は、検討する。

**Q** 配偶者対策は、今後どのように進めるのか？  
**A** 婚活はなかなか成果があらなうと感じていたが、昨年、5年前の交流会で出会った方が結婚された実績がある。交流会の実施など地道に長い期間継続していく必要がある。

**Q** 町営住宅、高齢者住宅とも建築単価が高いのでは？また、費用対効果は？  
**A** 民間住宅と比較すると割高だめの住宅で、福祉的な要素が強く、費用対効果の対象とは考えていない。高齢者住宅は一般の方よりも低額で利用できるよう検討する。

**Q** サミットで豊頃に来て「良かった」といわれるような出迎えるの心構えは？  
**A** 全国的な規模はじめての経験。空港、JR駅への送迎は職員が対応。ふるさとホールは300人ほどの収容なので、参加者が多い場合は2階研修室でモニター等により対応できる。はじかりやんこ。

**Q** 現在の葬斎場待合室は狭いのではないか？  
**A** 集骨スペースも含めて、現在より広くする予定。

**Q** 建設予定の高齢者住宅は、独立した住宅だが、高齢者はお互いに安否が確認できるような共同スペースがある住宅を希望している。今後そのような住宅の計画は？  
**A** 計画中の住宅には共同スペースの計画はない。近くに福祉施設があるのでそれを利用してほしい。

**Q** 財政が厳しくなっている中、少しでも建設単価を下げるように考へては？  
**A** 国の補助があるので国の補助単価も考慮しながらできるだけ工夫していく。

**Q** 食料が値上がりしているが、学校給食費の値上げについてどう考へるか？  
**A** 今のところ現状を維持できている。

**Q** 農業農村サポートセンターの利用状況・利用体制・利用促進は？  
**A** 現在、農協が職員を配置して運営し、アグリサポートセンターで利用促進・研修会を進めている。

**Q** 高齢者住宅の浴室等を共同スペースにするか？  
**A** 高齢者住宅の浴室等を共同スペースにするか？

**Q** サミットはどの程度の規模？  
**A** サミットはどの程度の規模？

**Q** ふるさと給食を、今以上に充実させて欲しいか？  
**A** ふるさと給食の内容は、毎年検討して取り組んでいる。今後地元食材を使用し、より良い方向で検討していく。